

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	キャリア開発Ⅱ-1（Career DevelopmentⅡ-1） 102003-14000					担当教員	広田 秀樹 （ヒロタ ヒデキ）		
科目区分	教養科目	必修・ 選択区分	必修	単位 数	1	配当年次	2年次	開講期	前期
科目特性	学生参加型 AL								

① 授業のねらい・概要									
企業等の組織、個人が激しく競争する社会で、逞しく活躍し続けるための、基本的な姿勢、考え方、ルール、作法、知識、視野。思考力等を身に付けることを目標にする。具体的には、産業社会を構成する多様な業界、企業について学習し、社会の組織で求められる多数の基本事項について学ぶ。授業内容は基礎レベルである。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力を育成する授業。									
③ 授業の進め方・指示事項									
基本的な知識、情報を紹介しながら、変化の激しい社会の各現場で実際に働く方をゲストスピーカーとして招聘するので、各自の人生のデザインを考え参加すること。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
キャンパスライフ入門・キャリア開発Ⅰ									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 経済社会の基本構造が理解できる。									
(ii) 経済社会で生きるための基本事項が理解できる。									
(iii) 各自が自分に合ったキャリアデザイン・ライフデザインを描くことができるようになる。									
⑥ テキスト（教科書）									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
大久保幸夫（2016）『キャリアデザイン入門＜1＞基礎編』日本経済新聞社									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	45%			30%		25%		100%
(i) 経済社会の基本構造の 理解	20%			10%		10%		40%

(ii) 経済社会で生きるための基本事項の理解	20%			10%		10%		40%
(iii) キャリアデザイン・ライフデザイン構築の能力	5%			10%		5%		20%
フィードバックの方法	レポートについてはコメントを行い討論のベースとして紹介する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

経済社会、そこで競争する組織の現状を紹介しながら、そこで生き抜き活躍するために必要な重要事項を身に付けてもらうような、授業を志向する。

⑩ 授業計画と学習課題

回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション・キャリアとは何か		各自の個性とライフデザインを考えるレポート	90 分
2	人生におけるキャリアの重要性	配布学習ノート・課題資料	各自の個性とキャリアデザインを考えるレポート	90 分
3	経済・産業・企業	配布学習ノート・課題資料	学校と社会の違いを考えるレポート	120 分
4	企業等の組織の基本構造	配布学習ノート・課題資料	組織と個人の関係を考えるレポート	120 分
5	業界研究・企業研究の重要性	配布学習ノート・課題資料	各自の個性と業界研究に関するレポート	120 分
6	流通業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から流通業の勤務を考えてみるレポート	120 分
7	製造業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から製造業の勤務を考えてみるレポート	90 分
8	金融業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から金融業の勤務を考えてみるレポート	90 分
9	建設業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から建設業の勤務を考えてみるレポート	90 分
10	サービス業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性からサービス業の勤務を考えてみるレポート	90 分
11	公共の仕事	配布学習ノート・課題資料	各自の個性からの公共の仕事の勤務を考えてみるレポート	90 分
12	出版業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から出版業の勤務を考えてみるレポート	90 分

13	貿易業	配布学習ノート・課題資料	各自の個性から貿易業の勤務を考えてみるレポート	90 分
14	インターンシップについて	配布学習ノート・課題資料	インターンシップに関する情報収集のレポート	90 分
15	まとめ	配布学習ノート・課題資料	自分に合ったライフキャリアデザインコンセプトに関するレポート	180 分

⑪ アクティブラーニングについて

学生参加型 AL を採用する。講義内容をベースにして、独自に調査、考察しレポートを作成するなかで本質を見抜き、独自に提案できる思考力を伸ばす。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目

実務経験の概要

--

実務経験と授業科目との関連性

--